



2020年12月

ドメーヌ フォンテーヌ ガニャール

DOMAINE FONTAINE-GAGNARD

地所:ブルゴーニュ地方 コートドボーン地区 シャサーニュ モンラッシェ村

このドメーヌは1985年に設立され、当主のリシャール フォンテーヌ氏はシャサーニュ モンラッシェ村の名家であるガニャールドラグランジュ、ブラン ガニャールを一族に持ちます。所有する畑はシャサーニュ、ポマール、ヴォルネイ村に約12haで、コクがあり力強くトロみのある白と、色調が濃く肉厚な赤を造っています。畑の土壌は基本的には粘土石灰質ですが、区画によって様々な特徴があり、それがワインのキャラクターに個性を与えています。葡萄の木の仕立てはギュイヨ式で、1株につき6～8房に制限します。

収穫は全て手摘みで除梗は100%、醗酵前に低温浸漬を行います。アルコール醗酵は白の場合は228ℓの榼樽で、赤はコンクリートタンクで行います。温度調節には冷却パネルを使用し、白は最高15～26℃、赤は15～32℃で醗酵させます。ピジージュ、ルモンタージュは1日2～3回でアルコール醗酵終盤はルモンタージュのみ行います。熟成は白は約12ヵ月、赤は約18ヵ月でいずれも228ℓの榼樽で行います。このドメーヌではフランス中央のCHERという地方の榼の木を自ら購入し、庭で2年間乾燥させてから樽業者に製造してもらっています。新樽率はブルゴーニュとヴィラージュが20%、1級と特級が30%になります。



セリーヌ(左)&リシャール(右) フォンテーヌ親子

ヴォルナー プルミエ クリュ, クロ デ シェヌ

● VOLNAY 1ER CRU, CLOS DES CHÊNES

ピノ ノワール種100%。所有畑の広さは約0.35haで隣接する1級区画「タイユピエ」同様、南東向きのとても石が多い区画で葡萄は1960年に植えられました。赤い果実のアロマ、酸とミネラルがとても豊かで最初のうちは固さもありますが、力強さとしなやかさを兼ね添えたリッチな味わいになっています。



丘の斜面上部に位置するクロ デ シェヌの畑

ポマール プルミエ クリュ, レ リュジアン

● POMMARD 1ER CRU LES RUGIENS

ピノ ノワール種100%。葡萄の植樹は1985年で所有畑の面積は約0.22ha、小石の多い粘土質土壌で傾斜のある区画です。色合いは深紅でブラックベリーのような濃厚なフルーツのアロマ、タンニンも力強く、骨格のしっかりしているワインです。植樹をした株がウィルス性の病気を持っていて生産量が少なかったため、2018年の収穫後に全て抜いて2021年に再度植樹する予定です。



小石がたくさん散らばるレ リュジアン畑

シャサーニュ モンラッシェ プルミエ クリュ モルジョ

● CHASSAGNE-MONTRACHET 1ER CRU, MORGEOT

ピノ ノワール種100%。モルジョはシャサーニュモンラッシェの中でも1番大きい区画でその中に複数のlieu-ditと呼ばれる畑が混在しています。1964年に植樹された葡萄で所有面積は約0.31ha、小石が散らばる粘土質土壌の区画になります。下記の1級クロ サン ジャンよりも色調が濃く骨格がしっかりとしたタニックなタイプの味わいで、どちらかというと熟成向けのワインです。



重い粘土質土壌のモルジョの畑

シャサーニュ モンラッシェ プルミエ クリュ, クロ サン ジャン

● CHASSAGNE-MONTRACHET 1ER CRU, CLOS SAINT-JEAN

ピノ ノワール種100%。葡萄の植樹は1954年で、所有畑の面積は約0.3ha、丘の中腹に位置する見晴らしの良い区画です。土壌は主に赤土の粘土質で石はあまり見られません。色合いがとても綺麗で香りもよく、果実味豊かでタンニンも柔らかくデリケートな味わいのワインです。区画名は昔の修道院の領主の名前から付けられています。



斜面の中腹に位置する古木が多いクロ サン ジャンの畑

シャサーニュ モンラッシェ ルージュ

● CHASSAGNE-MONTRACHET ROUGE

ピノ ノワール種100%。所有畑の面積は約1.3haでタンニンやストラクチャーを与える「Les Battaudes (レ バトード)」と「Les Benoités (レ ブノワト)」、フルーティさを与える「Les Voillenots Dessus (レ ヴウユノドウシュ)」や「Les Mouchottes (レ ムショット)」など5～6区画の葡萄を使用、葡萄の植樹は最も古いもので1938年、土壌は泥灰石灰質になります。それぞれタイプごとに分けて醸造し、最後にアサンブラージュして仕上げています。色合いは鮮やかなルビー色で香りも高く、酸味柔らかでなめらかなタンニン、バランス良く飲みやすい味わいです。

ブルゴーニュ ルージュ

● BOURGOGNE ROUGE

ピノ ノワール種100%。葡萄の木々の樹齢は約50年で所有畑の面積は約0.9ha、白亜粘土質と泥灰質土壌が混じり合い、ヴォルネー村の「Les Longbois (レ ロンボワ)」とシャサーニュ モンラッシェ村の「La Platière (ラ プラティエール)」に畑があります。色合いはとても淡いですが、素晴らしい果実味がありストラクチャーがしっかりしていてワインの色とのギャップに驚かされます。

ブルゴーニュ パストウグラン

● BOURGOGNE PASSETOUTGRAIN

シャサーニュ モンラッシェ村の東にある「Les Saugeots (レ ソージョ)」という区画に樹齢約45年のピノ ノワールとガメと一緒に植えられています。葡萄の比率は各50%ずつで最初から混ぜて醸造。醸造方法は基本的に他の赤ワインと同じですが、フレッシュな果実味を活かすために新樽は使わず旧樽のみで熟成させています。色調淡くチャーミングな果実味と酸味、軽やかでバランス良く飲みやすい味わい。ブルゴーニュ ルージュ同様、ブルゴーニュ パストウグランとしては高いレベルの造りになっています。

ル モンラッシェ グラン クリュ

● LE MONTRACHET GRAND CRU

シャルドネ種100%。1978年にリシャール氏の義理の祖父にあたるエドモンド ガニャール氏が畑を購入し、1996年からフォンテーヌ家で醸造するようになりました。所有畑の面積は僅か0.07haで土壌は泥灰土と粘土質から構成され、南東向きの緩やかな斜面に樹齢60～70年の葡萄が植えられています。年間生産量は最大でも600本ほどしかなく、非常にオイリーで濃厚、凝縮した果実味と酸味、ミネラル旨味と苦味、どこまでも続くような余韻がこのワインのポテンシャルを物語っています。

バタール モンラッシェ グラン クリュ

● BÂTARD-MONTRACHET GRAND CRU

シャルドネ種100%。最も古い木は1930年に植樹されたもので南西～南東向きの緩やかな斜面の粘土質と砂泥が混ざりあった畑に3つの区画を所有、合計面積は約0.3haになります。白い花や甘い柑橘系果実のアロマ、肉厚な果実味と酸味、たっぷりとした旨味の余韻が長い味わいです。下記クリオ バタールよりも熟成に少し時間を要します。

クリオ バタール モンラッシェ グラン クリュ

● CRIOTS-BATARD-MONTRACHET GRAND CRU

シャルドネ種100%。畑の広さは約0.3haで葡萄の植樹は1930年、南東向きの粘土質土壌で石が多く見られます。隣接するバタール モンラッシェよりも低地になるので北風の影響を受けにくく、さらに日当たりが良いので葡萄の成熟が早いのが特徴です。パイナップルなどの南国果実のようなアロマ、ハツラツとした酸味と直線的な味わい、力強くもバランスの取れた味わいです。



暖かく葡萄の成熟が早いクリオ バタールの畑

シャサーニュ モンラッシェ プルミエ クリュ, ラ ロマネ

● CHASSAGNE-MONTRACHET 1ER CRU LA ROMANÉE



標高が高く見晴らしの良いラ ロマネの畑

シャルドネ種100%。1級区画ラ ロマネの東側に約0.35haの畑を所有、東向きの急傾斜で日中は暑いですが西日は当たらないので夜は冷える場所です。きめの細かい粘土質土壌で葡萄の樹齢は約50年、寒暖の差が大きく成熟がゆっくり進むので複雑なアロマのある葡萄が収穫出来ます。熟した濃厚な果実味と酸味、若いうちは固さがありますが肉厚な旨味と素晴らしい余韻の長さがこのワインのポテンシャルを感じさせます。

シャサーニュ モンラッシェ プルミエ クリュ, レ カイユレ

● CHASSAGNE-MONTRACHET 1ER CRU LES CAILLERETS

シャルドネ種100%。1級カイユレに格付けされる「Vigne Derrière (ヴィーニュ デリエール)」に約0.56haの畑を所有し、葡萄は1962～66年に植えられました。畑は緩やかな斜面になっており、表面は白土で覆われ、その下に粘土が堆積しています。石灰質が多い斜面上部の葡萄はミネラルを、粘土質が多い下部の葡萄はリッチさをワインに与える特徴があり、ハツラツとした酸味とミネラル、若いうちは力強く四角さを感じるカッチリとした味わいがあります。



上部と下部で土壌が違うレ カイユレの畑

シャサーニュ モンラッシェ プルミエ クリュ, ラ ブードリオット

● CHASSAGNE-MONTRACHET 1ER CRU, LA BOUDRIOTTE

シャルドネ種100%。1級ブードリオットに格付けされる「Les Fairendes (レ フェランド)」という場所に約0.8haの畑を所有。葡萄の植樹は古いもので1945年、小石が多く散らばる木目細かい粘土質土壌の南東向きの区画になります。白い花のアロマ、繊細さと力強さのバランスが素晴らしく、ストレートでカッチリとした味わい。ガニヤールドラグランジュの1級ブードリオットとの違いはこちらのほうが樽熟期間が短く、さらに新樽率が高いことです。



中央が低く窪んでいて霜が降りやすいラ ブードリオットの畑

シャサーニュ モンラッシェ プルミエ クリュ, モルジョ

● CHASSAGNE-MONTRACHET 1ER CRU, MORGEOT



小石が多く散らばるモルジョの畑

シャルドネ種100%。1級モルジョに格付けされる「Les Brussonnes (レ ブリュソンヌ)」という場所に約0.23haの畑を所有。葡萄の植樹は1956年で小石の多い粘土質土壌です。若いうちは引き締まりのある固さがありますが、豊かなミネラル旨味と苦味のある力強い味わいで熟成させると真価を発揮します。

シャサーニュ モンラッシェ プルミエ クリュ, レ ヴェルジェ

● CHASSAGNE-MONTRACHET 1ER CRU, LES VERGERS

シャルドネ種100%。フランス語で果樹園という意味の「Les Vergers (レ ヴェルジェ)」の区画に所有する約0.71haの畑は東から南向きの緩やかな斜面の鉄分を多く含む赤土土壌で、1972年に葡萄は植えられました。葡萄の成熟が他の1級区画よりゆっくりなため、葡萄にハツラツとした酸味が良く出る畑で、オイリーさもありますが瑞々しい果実味が豊かで余韻にしっかりと酸味を感じられる緊張感のある味わいです。



赤く酸化した粘土質土壌のレ ヴェルジェの畑

シャサーニュ モンラッシェ プルミエ クリュ, クロ デ ミュレ(単独所有畑)

● CHASSAGNE-MONTRACHET 1ER CRU, CLOS DES MURÉES (MONOPOLE)



囲いで囲まれているクロ デ ミュレの畑

シャルドネ種100%。1級区画クロ サン ジャンも名乗れる「Les Murées(レ ミュレ)」という畑を単独所有しています。広さは約0.34ha、粘土が少なく石が多く散らばる土壌で葡萄は1971年に植樹されました。比較的暖かい早熟な畑で他の1級よりもフローラルなアロマがあり、エレガントで繊細な味わいになりやすい特徴があります。

シャサーニュ モンラッシェ プルミエ クリュ, ラ マルトロワ

● CHASSAGNE-MONTRACHET 1ER CRU LA MALTROIE



緩やかな傾斜のラ マルトロワの畑

シャルドネ種100%。1級マルトロワに格付けされる「Ez Cretz(エクレ)」と「Les Rebichets(レ ルビシェ)」という場所に約0.8haの区画を所有。葡萄は1950～60年に植えられ、土壌はフィルター状の軽めの粘土質、日当たりが良く暖かい場所で葡萄の成熟が早いのが特徴です。シャサーニュ モンラッシェ1級の中でも酸味が柔らかく、凝縮感や余韻はそこまでありませんがバランス良いタッチの飲みやすさがあるワインです。

シャサーニュ モンラッシェ ブラン

● CHASSAGNE-MONTRACHET BLANC

シャルドネ種100%。「La Bergerie(ラ ベルジュリー)」や「Les Voillenots Dessus(レ ヴウユノドゥシュ)」など7区画の葡萄を使用、葡萄の植樹は最も古い木で1960年、所有畑の面積は約1.7haになります。白い花やリンゴの香り、酸味は控えめでタッチも柔らかく、程よく甘味もあってオイリーで飲みやすい味わいです。

ブルゴーニュ ブラン

● BOURGOGNE BLANC

シャルドネ種100%。畑の広さは約0.2haで樹齢は約30年、白亜粘土質と豊富な泥灰土壌の南東向きの区画です。醸造は他の白ワインと同様櫛樽醗酵で、通常は2～3年樽のみで熟成させています。レモンコンフィのような香り、適度にオイリーでミネラル豊かな旨味、村名ほどの余韻の長さはありませんがバランス良く十分美味しい味わいです。